

立民、会食費など公表要求

衆院予算委、首相長男の接待巡り

立憲民主党は10日の衆院予算委員会で、総務省幹部が菅義偉首相の長男から接待を受けていた疑惑を追及した。同党の奥野総一郎氏は会食の費用や回数などを12日までに公表するよう総務省に要求した。武田良太総務相は「迅速に対応するよう指示している」と答えた。接待を受けたと報じられた総務省幹部4人のうち、秋本芳徳情報流通行政局長と湯本博信官房審議官が予算委に出席した。2人はそれぞれ、2020年12月に首相の長

総務省局長「要望を受けた記憶ない」

男と会食したと認めた。秋本氏は15年以降、年1回程度会食していたと説明した。立民の今井雅人氏は昨年の会食の直後に、長男の勤務先の子会社が総務省から衛星放送の認定更新を受けた点を問題視した。秋本氏は会食で「事業に関して要望を受けた記憶はない」と答弁した。立民の安住淳国会対策委員長は10日、会食に関する政府の回答がない場合「来週以降の予算委の日程協議は順調にいかない」と強調した。